

【記載例】  
令和3年7月～9月に、  
在園中の施設の預かり保育を利用し  
た分について請求する場合

施設から発行された領収書、  
提供証明書の日付より後の  
日付を記入してください。

請求日 令和 \* 年 \* 月 \* 日

## 施設等利用費請求書（償還払い用）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【令和3年7月～令和3年9月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、  
下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り  
なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

給付スケジュールは四半期ごと  
ですので、基本的に3か月分につ  
いて記入してください。

1. 申請者と認定子どもが、南陽市内に居住していることを南陽市が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることを南陽市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を南陽市が対象施設に確認すること。

「施設等利用給付認定通知書」記載の保護者名(封筒の宛名になって  
いる方です。)を記入し、押印してください。

### 1. 施設等利用費の請求者(保護者)(請求者)※認定保護者の署名又は記名押印

フリガナ	ナンヨウ タロウ	生年月日	昭和** 年 ** 月 ** 日
氏名	南陽 太郎 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>	父	〒999-**** 南陽市〇〇**番地 電話：090-****-****
	※償還払いの場合の振込先は申 請者名義の口座です	認定 子ども との 続柄	現住 所

「第2号」にチェック

「施設等利用給付認定通知書」記載の「支給認定証番号」を記入

### 2. 認定子ども(認定子ども)に申請してください

法第30条の4の認定種別	<input checked="" type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	認定番号	****
生年月日	平成 ** 年 ** 月 ** 日	フリガナ	ナンヨウ サクラ
令和3年7月1日～令和3年9月30日の間の住所	氏名	南陽 桜	
<input checked="" type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した	上記で転入または転出に該当する場合は、転入・転出日を記入 年 月 日		

請求期間(この場合は7月～9月)に引越しなどをされた場合、転入・または転出日を記入してください。

### 3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入

フリガナ	〇〇ヨウチエン	所在地	南陽市内の施設については、所在地の 記入は不要です。市外の施設をご利用の 場合は、お手数ですがご記入ください。
施設名称	〇〇幼稚園	(市外の場合のみ記入)	
令和3年7月1日～令和3年9月30日の間の在籍状況	<input checked="" type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した	上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入 年 月 日	

### 4. 償還払いの振込先を記入してください(※1)

金融機関名	預金種目	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座
〇〇 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">銀行</span> 信用金庫	口座番号	0 1 2 3 4 5 6
農協・信用組合 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">支店</span>	口座名義(カタカナ)	ナンヨウ タロウ
出張所		

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

<裏面も記入してください>

5. 在籍園の預かり保育事業以外に、認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※2)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、任意の別紙に記載してください。

①	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話:
②	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話:
③	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話:
④	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話:
⑤	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話:
⑥	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話:

※2 「在籍園の預かり保育事業以外に、認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみです。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※3 ※4	請求額 ※5 (「c+d」か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※4	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
令和 3年 7月	8,700 円	18 日	8,100 円	8,100 円	0 円	8,100 円
令和 3年 8月	3,800 円	12 日	5,400 円	3,800 円	0 円	3,800 円
令和 3年 9月	6,600 円	22 日	9,900 円	6,600 円	0 円	6,600 円
年 月	円	日	円	円	円	円
おやつ代等、保育料以外の費用は請求できません。				請求額合計(表中c+表中d)と月額上限額(※5参照、第2号の方は11,300円)を比較し、小さいほうが請求額になります。		
請求額の合計※					合計額を記入してください。	18,500 円

※3 ※2に関連し、「認可外保育施設等に支払った金額」は、預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

※4 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証(口座振替の場合は通帳コピー等の確認ができる書類等)と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付してください。

※5 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入してください。